



# 竹のしおり

梵珠少年自然の家

## 1 活動のねらい

- 竹の特徴を生かしながら加工し、美しく仕上げることで創作する喜びを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 中学校：美術、技術・家庭など

## 2 活動の概要

小刀などを使い、竹材を繊維に沿って、薄く加工します。紙やすりで滑らかに仕上げ、表面に言葉や絵を添えて、オリジナルのしおりを作る活動です。



<作品例>

- (1)人数 160人以内
- (2)対象 中学生・高校生
- (3)期間 通年
- (4)時間 1.5時間（説明15分+活動75分）
- (5)場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6)経費 30円/1作品
- (7)指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

## 3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手
自然の家	材料：真竹、刺繍糸 用具：のこぎり、小刀、クラフトナイフ、かなづち、錐、紙やすり、ホビーカンナ、作業板、細ペン

## 4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

## 5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を提示しながら、作り方について説明</li> <li>用具の使い方と安全について説明</li> </ul>	
活 動	<p>① のこぎりや金づち、小刀を用い、真竹の端材から、長さ15cm程度、幅15mm程度に切り出す。 ※すでに切り出し済みの部材を使用する場合は①は省略してよい。</p> <p>② 錐でひもを通す穴をあける。</p> <p>③ 全体が2mm以下になるよう小刀やホビーカンナで、薄く削る。 ・竹の表皮側よりも内側（白い部分）のほうが削りやすい</p> <p>④ 紙やすり（40番手：粗目）で削る。 ・紙やすりは角材に巻き付けて使用することで、表面を平らに仕上げることができる。 ・同じ方向だけでなく、いろんな方向で紙やすりをかけると、作業がはかどる。</p> <p>⑤ さらに紙やすり（120番手：中目）で表面を滑らかに仕上げる。</p> <p>⑥ 刺繍糸を通し、細ペンなどで表面に言葉や絵をかいて完成</p>	<p>① </p> <p>② </p> <p>③  </p> <p style="color: red;">カンナの刃には直接触れないこと！</p> <p>④ </p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想発表や友達の作品の鑑賞</li> <li>用具の返却と後片づけ</li> </ul>	

## 6 安全に実施するためのポイント

- けが防止のため、軍手をつけて作業する。
- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。